

公立大学法人 長野大学 理事会 議事録

- 日 時：令和5年7月26日（水） 9：30～11：10
- 場 所：長野大学 4－304会議室
- 出席者：平井利博（議長）、小林淳一、織英子、塚田國之、金子義幸、熊谷圭介、山浦和彦、市村和久、小山秀喜（監事）
- 欠席者：前田裕子、藤森靖夫（監事）

議事概要

1 議事録

（1）前回（6月28日理事会）会議録の確認

事前に配信した議事録案の内容の確認を求めたところ、指摘はなく議事録を確定した。

（2）議事録署名人の指名

議長から議事録署名人として、熊谷理事、山浦理事が指名された。

2 審議事項

議案第1号 教員の資格審査にかかる規則等の見直しについて

小林学長から、本学における教員の資格審査基準は他大学と比較して制度的に課題がある事から規定の見直しを提案したい旨が述べられ、引き続き菊池総務・人事・施設担当課長から改正案の説明があり、原案どおり承認された。なお、要件を満たしていても必ず昇任できるわけではないという資格審査についての説明が必要であることと、各学部で協議した審査基準については学長との協議だけでなく最終的に理事会において協議する規定を加えることで承認された。

議案第2号 黄山学院との学術交流協定の締結について

熊谷理事及び須永国際交流センター事務長から、中国安徽省にある黄山学院との学術交流協定について、黄山学院の概要及び協定書の内容の説明があった。

学生どうしの交流機会を作ることが交流活性化のポイントであるという指摘とともに、細かな申し合わせを協議する際には、知財や個人情報保護の点などについても留意したうえで推進してほしいとの意見があり、既に交流協定を締結している他大学との国際交流状況が停滞している点をふまえ、既存の交流協定について改めて見直しをすることを条件に本議案は承認された。

3 報告事項

（1）任期満了に伴う監事の退任と後任の選任について【総務人事】

菊池総務・人事・施設担当課長から、7月末で退任する監事2名の後任として、前上田市総務部長の柳原氏、不動産鑑定士・公認会計士・税理士の金子氏が8月1日付で就任することが報告された。なお監事に対する引き継ぎの一環として、本学が抱えている法的な課題等についての説明を、次回理事会において行うことを確認した。

（2）学部学科再編の進捗状況について【小林学長】

小林学長から、学部学科再編の進捗状況として、大学改組後の概念図が示され、3つの学部がそれぞれオーバーラップした形で教育研究を推進するイメージが説明されるとともに、3つの専門委員会を立ち上げ準備を進めていることが報告された。

（3）7月15日オープンキャンパス実施報告【広報入試】

千住広報入試担当課長から、7月15日に開催したオープンキャンパスについて報告され

た。

(4) IR コンソーシアム、スーパー連携大学コンソーシアムへの加入について【総務人事】

小林学長からスーパー大学連携コンソーシアム、山浦副学長から IR コンソーシアムの紹介があり、両コンソーシアムに加入することが報告された。

(5) 研究不正の防止に向けた取り組み【市村常任理事】

研究不正の防止に向けた取り組みとして、市村常任理事から、岩手大学の研究費不正使用事例が紹介された。

(6) 令和5年度大学・高専機能強化支援事業の採択結果について【法人改革室】

中山法人改革室長から、令和5年度大学・高専機能強化支援事業に選定されたことが報告された。なお、交付決定（交付金額の決定）は今後改めて通知されることから、次回理事会において報告を予定している旨が付言された。

4 その他

小山監事から、以下の退任あいさつがあった。

本日の理事会において、学長から学部学科再編に関する話があった。夢のある話であり期待している。高校生にしっかり周知し学生を集めてほしい。

6年前軽い気持ちで引き受けたが、就任し事の重大さ、重責を感じた。これまで課題も多かったが、解決に向けた取り組みがなされ、少しずつ課題を解決してきている。引き続き力を合わせて取り組み、地域に誇れる大学となってほしい。

今後は一市民として応援したい。

以上

次回開催日 令和5年8月30日（水）

議長	平井	利博	㊟
理事	熊谷	圭介	㊟
理事	山浦	和彦	㊟